

令和7年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和6年度事業対象)

令和7年7月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成20年度から点検・評価を行い、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表しております。

令和7年度においても点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和6年度において実施した事業の中から、重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組にご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和7年7月

浦添市教育委員会
教育長 銘 莉 健
職務代理者 下地 イツ子
委員 宮 城 靖
委員 大 兼 奈月
委員 東 健 策

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 経緯	
2 目的	
3 学識経験者の知見の活用	
4 点検・評価の方法	
II 本市教育委員会の点検・評価の方法	2
1 対象となる事業の考え方	
2 点検・評価の様式	
3 点検・評価書の見方	
4 学識経験者の知見の活用	
III 教育委員会点検・評価書	
1 教育委員の活動評価	4
(1) 概要	
(2) 名簿	
(3) 教育委員の活動状況	
(4) 教育委員の活動自己評価	
2 教育長への委任事務評価	
点検評価対象事業一覧	6
(1) 社会教育 (No.1 ~No. 4)	
(2) 文化芸術 (No.5 ~No. 6)	
(3) 学校教育 (No.7 ~No.11)	
資 料	
1 教育委員会会議における議案等一覧	(1)
2 教育委員の活動状況	(4)
3 教育長の活動状況	(6)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかについては、自らが事後チェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することとします。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験者の知見の活用は、点検・評価の客観性を確保するためのものです。評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けます。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法については、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 対象となる事業の考え方

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委任事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和6年度に実施した11の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式

本市が平成29年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、「教育委員の活動」は、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目で自己評価を行っております。

「教育長への委任事務」については、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委任事務」

- ① 「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。
- ② 「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。
- ③ 「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。
- ④ 「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

- | |
|-----------------------------------------|
| 1 必要性…教育委員会が実施すべき範囲として |
| ・適切→3点 ・概ね適切→2点 ・やや不適切→1点 ・不適切→0点 |
| 2 有効性…予定された実績、成果を得るのに |
| ・有効→3点 ・概ね有効 →2点 |
| ・あまり有効でない→1点 ・有効でない→0点 |
| 3 効率性…投入した経費等が原資に見合う |
| ・実績を出している →3点 ・実績を概ね出している→2点 |
| ・実績をあまり出せない→1点 ・実績を出せない →0点 |
| 4 優先度…本事業が他に比べて |
| ・優先度がある →3点 ・概ね優先度がある→2点 |
| ・あまり優先度がない→1点 ・優先度がない →0点 |
| 5 総合評価 A→総合点 10点以上 B→8~9点 C→6~7点 D→5点以下 |

4 学識経験者の知見の活用

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれ関係の深い専門分野について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿 (五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	事業担当部署
平 良 亮	学校教育	指導部
松 川 章	文化芸術	教育部
森 田 牧子	社会教育	教育部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1)教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年1月29日から施行する。

この訓令は、平成27年5月19日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

Ⅰ 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	銘 莉 健	令和5年6月7日～令和8年6月6日
職務 代理人	東 健 策	令和5年7月21日～令和7年4月19日
委員	下地 イツ子	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	宮 城 靖	令和5年4月1日～令和9年3月31日
委員	大 兼 奈月	令和6年10月1日～令和10年9月30日

(3) 教育委員の活動状況

	内 容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	19
2	総合教育会議	0
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	9
4	学校訪問	16
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	16
6	各種行事(式典・大会等)	16
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	11

(4) 教育委員の活動自己評価

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価について新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

＜評価基準＞ A:よくできた B:できた C:不十分			
項目	内容	評価	
教育委員会会議について	1	方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。	A
		○常に公正公平性を心がけ、急な対応においても会議を開催することができた。	
	2	議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。	A
		○議案決定に際しては、事前の勉強会の実施により、議案に対する理解を深め、十分な協議を行うことができた。また、さらなる審議の充実を図るため、事務局に対し、関連資料等の提供方法についての提言も行うことができた。	
	3	議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。	A
		○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。	
地域住民の意向の反映について	1	学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。	A
		○市立の全小中学校を訪問し、主にICTを活用した工夫ある授業の取組が把握できた。また、校長及び管理職等との意見・情報交換を行うことで各学校の実情を把握し、課題等については、持ち帰り、担当する所管課に情報共有を行い、適切な支援に努めることができた。	
	2	社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。	A
		○市内小中学校の入学式や卒業式、また、中国泉州市の学生と市内児童の交流会や浦添市はたちの集いなど多種多様な行事に参加することができた。これにより、各行事の様子、状況等を確認し、現状把握することができた。	
	3	外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。	A
		○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。	
教育長について	1	教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。	A
		○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。	
	2	会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。	A
		○会議の議事録は事務局の迅速な作成で、審議内容を各委員で共有化できた。	
		○教育委員会会議の概要を市ホームページで公開している。	
		○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。	

2 令和7年度 教育長への委任事務評価(令和6年度実施事業)

点検評価対象事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	地域学校協働活動推進事業	社会教育推進課	3	3	2	3	A	森田 牧子 氏
2		放課後子ども教室推進事業	社会教育推進課	3	3	2	3	A	
3		中央公民館運営事業	社会教育推進課 (中央公民館)	3	2	2	3	A	
4		図書館運営事業	社会教育推進課 (図書館)	3	2	3	3	A	
5	文化芸術	浦添市内遺跡発掘調査事業	文化財課	3	3	3	3	A	松川 章 氏
6		悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	文化財課 (美術館)	3	3	3	3	A	
7	学校教育	学力向上対策事業	学校教育課	3	3	3	3	A	平良 亮 氏
8		外国語指導事業	学校教育課	3	3	3	3	A	
9		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	3	3	3	A	
10		課題を抱える児童生徒支援事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
11		学校給食費補助金交付事業・美味しい給食推進事業	学校給食調理場	3	3	3	3	A	

※自己評価配点基準

【各項目】3点(適切等)～0点(不適切等)×4項目

【総合評価】A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	I	事業名	地域学校協働活動推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	森田 牧子	
事業概要	学校と地域が連携し、地域全体で子どもたちの学びと成長を支える取組みを展開。市内全小中学校に配置された地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)が、学校の要望に応じて地域の協力者をマッチングし、学校の教育活動を支援している。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター) 市内全小中学校16名配置 ※主な役割・・・地域連携担当教諭との調整及び地域ボランティアの確保等 ※地域コーディネーターの活動時間 一人当たり平均 82 時間(前年度比約15%の増加)</p> <p>(2) 地域ボランティア 実人数 990 名(前年度比約30%の増加) 延べ人数 18,592 名(前年度比約10%の増加)</p> <p>(3) 主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会における市指定文化財(前田棒・仲西の獅子舞)や青年会によるエイサー指導 ・ クラブ活動補助(三線、琉球舞踊、ウクレレ、料理等) ・ 交通安全指導(立哨活動、登下校の見守り等) ・ 学習支援(授業中の見守り、新入生の給食準備等) ・ 食文化の体験活動(きび植え、黒糖作り等) ・ 家庭科の被服実習補助(浴衣着付け、縫物等) ・ 環境整備(教材園、花壇等) ・ 地域企業によるキャリア教育(トイレ清掃指導等) 				
課題	<p>○中学生ボランティアが地域に出向いて活動を行う際の安全確保(夕方から夜)</p> <p>○学校教育に地域の特性を組み込んでいくためには理解や協力など時間を要する</p> <p>○ボランティアの高齢化及び固定化による人材確保</p>				
今後の方向	<p>○高校生・専門学生・大学生(教職課程履修学生など)のボランティアを積極的に活用し、学習支援や文化活動等の更なる充実を目指す。</p> <p>○令和6年度から市内全小中学校に導入しているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)との一体的な推進を図りながら、学校現場が抱える教育課題及び地域課題の把握に努め、学校を核とした課題解決の取組みを目指す。</p>				
有識者の意見	<p>○「地域学校協働活動推進事業」は「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」と両輪であると言われます。様々な先進事例がある中、浦添市においては浦西中学校の【キャッチフレーズ「夢実現応援隊」～地域が学校～】が、県のホームページで「※取組事例」として挙げられています。子ども・家庭・学校・地域のそれぞれを活かしながら融合させるという参考事例があれば、これからも積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>※沖縄県ホームページ「学校・家庭・地域の連携協力推進事業(市町村の取組事例)」 「市町村の取組事例(令和6年)」 「コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進」</p> <p>○「地域コーディネーターの働き」について特記(評価)しておきます。関連資料中に、「地域コーディネーターはボランティアの方が高齢・独居の場合、まめに連絡を取っている」との記述があり感銘を受けました。ボランティアの手間や時間を、必要としている所に単に組み込むという「事務的作業」ではなく、ボランティアお一人おひとりを大切に、その安全も見守ってくださっているという「血の通った」仕事ぶりが、地域の皆さんの信頼を得、結果として実績増に結び付いているのではないかと推察いたします。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	2	事業名	放課後子ども教室推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	森田 牧子	
事業概要	放課後や週末に、市内小・中学生を対象として学校や自治公民館等で学習・スポーツ・文化活動等の様々な体験活動・交流活動を実施。地域住民の協力を得ながら、子どもたちの安全・安心な居場所の確保と健やかな成長を見守る。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1)実施教室 21教室(R5年度 19教室・R4年度 17教室) ※自治公民館での開設を含めると、全小学校区において子ども教室を実施できた。</p> <p>(2)ボランティア 実人数 115名(R5年度 101名・R4年度 102名) 延べ人数 4,576名(R5年度 4,195名・R4年度 4,158名)</p> <p>(3) その他 ・子どもたちの学習成果発表として、「うらそえ社会教育いきいきまつり」の実施や「市民協働とまなびのフェスタ浦添」に参加するなど、舞台発表やパネル(作品)展示を行い、子どもたちの自己肯定感や学習意欲の向上に努めた。 ・放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携・一体的取組を推進する「新・放課後子ども総合プラン」や「放課後児童対策パッケージ」の趣旨のもと、両事業の関係者(大人)を対象とした研修会を2回実施できた。(第1回テーマ:救急救命、第2回テーマ:子どもの発達障害)</p>				
課題	<p>○活動が活発化している一方で、国・県の補助金事業である本事業の補助率が減少傾向にあり、事業を維持できなくなる恐れがある。</p> <p>○子ども教室の事務担当者(無償ボランティア)の負担が大きいとの声がある。</p>				
今後の方向	<p>○教室数増加に向けた事業総額予算の増額や、ボランティア確保による有償ボランティアへの謝礼金単価の増額等、国・県へ補助率増加の要望を重ねつつ、市の財政見直しを検討する。</p> <p>○ボランティアの負担軽減ができるよう事業内容の見直しや事務手続きの簡化に努める。</p> <p>○安全性・専門性の向上を目的とし、引き続き放課後子ども教室と放課後児童クラブの関係者(大人)を対象とした研修会を実施する。</p> <p>○成果発表の場の充実を図るため、R7年度より、市民協働・男女共同参画課と事業連携し、まなびのフェスタ浦添内にて「放課後子どもフェスタ(仮)」として実施予定。</p>				
有識者の意見	<p>○令和6年度の事業報告に、市内にある21の教室のうち、20年近くも「放課後子ども教室」活動を続けておられる教室が6か所あり、ほかに令和6年度から活動を開始して下さった教室が3か所あるとの記述を見つけました。新規が加わったことにより、全小学校において教室を開設できたとのこと。関係の方々のご尽力の賜物と思います。</p> <p>○子どもたちの居場所をつくる、見守る、話を聞く、目を見る、遊ぶ、教える、一緒に汗をかく。子どもたちと過ごす時間はとても楽しいひとときである反面、労力面からしても安全面からしても、容易に取り組めるものでないことは周知の事実です。</p> <p>それにも関わらず、市内各所で活動をしてくださっている方々が現におられます。活動の「見える化」の一環として、市の広報で取り上げてみてはいかがでしょうか。</p> <p>○教室運営の方々に、子どものことに集中・専念していただくためにも、「放課後子ども教室」長年の課題である、事務担当者(無償ボランティア)の月次等の事務処理簡素化に取り組んでいかなければなりません。有償ボランティアの謝礼金単価の増額も重要な案件です。</p> <p>○市がどのように素晴らしい事業を企画しようとも、応じてくださる地域の方々がいないと成り立ちません。「放課後子ども教室」は、やってみたいと手をあげてくださるボランティアがおられて始めて成立する事業です。大切に育てて参りましょう。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	3	事業名	中央公民館運営事業		
担当課	社会教育推進課(中央公民館)		有識者	森田 牧子	
事業概要	<p>多様な価値観に対応した社会教育推進の取り組みとして、地域・現代的ニーズ(必要課題)と市民のニーズ(要求課題)を捉えた「公民館講座」、自治公民館が主体となった「自治公民館講座」の開設等、学習支援を通じて「まなぶ・つどう・つなぐ・いかす」社会教育の場を提供する。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 中央公民館講座 ・ 28講座全 66 回実施 (R5 年度 21 講座全 67 回) ・ 学習者延べ 5,403 名 ※地域住民の学習活動の活性化及び地域力を図る目的で、前年度に引き続き出前講座「自治公民館おでかけ講座」を実施。スマホ講座の補助を務めたインターンシップの高校生と高齢の受講者が交流しながらスマホ操作の学習を進めた。 ※R6年度の重点目標のひとつに「主体的に考える平和学習講座の工夫」を掲げ、平和キャラバンのプログラム数を4から 10 へ充実させたことで、平和についてより多角的かつ身近な視点で考える学習を提供することができた。実施校にて発展学習としてフィールドワークが組まれる等、学習の循環が見られた。</p> <p>(2) 自治公民館講座 ・ 21自治公民館 33講座全 115 回開設 (R5年度 13自治公民館 23講座全 83回) ・ 学習者延べ 1,165 名 ※コロナ5類移行後、講座を開設した自治公民館の数が増えている。</p> <p>(3) 自主企画まなび助成制度 ・ 14グループ全 32 回活用 (R5年度6グループ全20回) 学習者延べ 528 名</p> <p>(4) 定期利用団体(公民館サークル)及び各種関係団体の活動支援 ・ 公民館登録活動団体 69 団体 (R5年度 分館含む 82団体)</p> <p>(5) うらそえ社会教育いきいきまつり 2024 ・ 令和6年8月1日(木)～令和6年8月31日(土) まつり月間として6プログラムを実施 公民館サークルの成果発表:作品展示、薬膳弁当販売、舞台発表、作品販売、ダンス交流会 放課後子ども教室の活動PR 及び成果発表:活動紹介パネル展、舞台発表</p>				
課題	○施設の著しい老朽化に伴う事業展開				
今後の方向	<p>○地域住民の学習活動の活性化に向けて自治公民館が主体となった取組の支援を強化する。 ○成果発表の場の提供として実施している「うらそえ社会教育いきいきまつり」について、市民協働・男女共同参画課と連携し、R7 年度より「市民協働とまなびのフェスタ浦添」と融合させる方向で進めている ※R7.11月AIM・ユニバースてだこホール全施設先行予約済</p>				
有識者の意見	<p>○前年度と比較すると「自治公民館講座の開設支援数」と「自主企画まなび助成制度による学習支援」ともに、「講座回数」と「受講者数」が伸びております。 「自治公民館講座開設の増加」は、市民にとって、より身近な場所で気軽に学ぶことのできる場所が増えるということですので喜ばしいことですが、実態としては参加者の固定化が生じていないかを案じています。「誰も利用しない」→「まずは利用してもらう」→「いろいろな世代のより多くの方に利用してもらう」の三段階と考えると、いまはホップ・ステップ・ジャンプのステップ期なのではないかと捉えました。取り組み強化を期待いたします。</p>				

○「※講座報告」につきまして、各講座とも「目的」・「場所」・「対象」・「講師」・「人数(定員)・(申込人数)・(参加人数)」・「実施内容」・「成果」・「課題」が記載されており、「講座の様子」では写真も用いられ、令和6年度中に開催された講座の概要が事細かに伝わるようになっています。「やりっぱなし」ではない丁寧な仕事ぶりが見られる中、追記をご検討されたいのが「人数(定員)」に対する「人数(参加人数)」の割合です。仮に講座定員を20名にすると、それに対し「参加10名」、結果「参加達成率が50%」であるというように書き添えることで、考察が深まり、「何故参加者が足を運ばなかったのか」というように講座分析をする一助となり、ひいては以後の講座の管理運営に活かせるのではないかと考えました。

※『浦添市立中央公民館 館報』に掲載

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	4	事業名	図書館運営事業		
担当課	社会教育推進課(図書館)		有識者	森田 牧子	
事業概要	浦添市立図書館は図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション等活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	3	3	
A					
成果等	(1) 図書資料等の貸出業務				
		R6年度	R5年度	R4年度	
	貸出冊数	297,414冊	303,150冊	308,736冊	
	1日平均貸出冊数	1,070冊	1,079冊	1,103冊	
	貸出人数	69,544人	69,211人	70,031人	
	1日平均貸出人数	250人	246人	250人	
	予約総数	18,025件	17,503件	20,214件	
	Web予約数	14,459件	14,028件	16,572件	
	新規利用申請者数	924人	981人	2,826人	
	開館日数	278日	281日	280日	
	(2) 雑誌スポンサー制度				
		R6年度	R5年度	R4年度	
	企業数	20事業所	22事業所	19事業所	
	タイトル数	27タイトル	30タイトル	23タイトル	
	金額	314,440円	341,068円	262,864円	
	(3) 電子図書館事業				
		R6年度	R5年度	R4年度	
	貸出冊数	7,616冊	16,268冊	11,762冊	
	1日平均貸出冊数	21冊	45冊	32冊	
	貸出人数	1,859人	2,898人	2,439人	
	1日平均貸出人数	4人	8人	6人	
	総閲覧数(PV)	17,842PV	29,606PV	24,091PV	
	タイトル数	3,349タイトル	4,617タイトル	4,037タイトル	
	※電子図書館は令和4年2月より開始 ※R5年10月に市内小中学校全児童・生徒及び全教職員に電子図書館専用アカウントを付与したため、全体的に増となる。 ※総閲覧数(PV)は、電子書籍を閲覧した回数(1冊の本を2回に分けて読むと2PVとなる)				
	(4) 2024うらそえYA文芸賞				
	R6年度	R5年度	R4年度		
短編小説部門	20人	26人	33人		
詩部門	0人	5人	179人		
(5) 暮らしに役立つ図書館					
令和4年度・・・「防ごう!学ぼう!家庭内事故～応急処置のきほん～」					
令和5年度・・・「大人のための速読講座」					
令和6年度・・・「詩の教室～詩って何?詩を書いてみませんか?～」					
	R6年度	R5年度	R4年度		
参加者	15人	18人	14人		

	<p>(6)ビブリオバトルの体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YA世代(中学生・高校生)への読書活動の取組として、「ビブリオバトル」(知的書評合戦)を開催。読書を通じた表現力やコミュニケーション力の育成を図る。 市内中学校1校(港川中学校) 予選：参加数:生徒 23人 教員 2人 学校司書 2人 本選：参加数:生徒 21人 教員 2人 学校司書 16人 オブザーバー 2人 講師 1人
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度と比べ貸出冊数・貸出人数等に関しては、ほぼ横ばい(冊数は減少であるが、その分予約数に移行していると思われる)である。 ○新規利用申請者数については、令和4年度に電子図書館(利用申請者のみ利用可)利用促進を図るため小中学校へ利用申請書を配布し依頼を行い大幅な増となったが、令和5・6年度は減少している。これからはより多くの新規利用者を増やすため魅力ある図書館運営の工夫が必要と考える。 ○電子図書館においては、開始から2年が経過したことによる一部タイトルの2年間のリース期限が切れたことによりタイトル数が減少し、全体的な減少となる。 ○YA文芸賞については、令和4年度に夏休みの課題で取組んだ学校があり応募者数が多かったが、翌年度から減少傾向である。特に昨年は「詩」部門で0件であったため周知方法等工夫する必要がある。
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○1日平均貸出人数は、ほぼ横ばい状態であるが、貸出冊数が減少気味なので利用者の興味・関心を引き出すような様々な企画を催し、変化に富んだ資料の展示・提供等を実施し貸出冊数の増加につなげたい。また、図書館前掲示板を活用した広報も併せて行うよう努める。それ以外にも、「みんなのこえ」など利用者からの直接的意見から需要につながる情報を収集し資料のバランスを考えながら蔵書の充実を図る。 ○雑誌スポンサー制度においては、厳しい社会状況の中協力いただいている事業のPR及び新規スポンサーの開拓につながるための手法検討が必要であり、引き続き促進に努める。 ○電子図書館においては、限られた予算の中で利用者の興味・関心や知識向上に向けたタイトルの選定に努める。 ○YA文芸賞においては、特に「詩」部門では講習会を開くなど強化し応募者増を図る。また、短編小説部門についても引き続きPRを行い応募者増に努める。 ○ビブリオバトル体験では、YA世代の読書活動推進のため、今後も教育機関(学校等)と連携を図り取り組んでいく。 ○昨年度には「アメリカ情報コーナー設置」(アメリカ領事館と覚書)20周年を迎え、英語のおはなし会・ボードゲーム・上映会等様々な行事を実施した。また、JICAを活用した1日図書館員・せかいのおはなし会等も含め、今後も多種多様な事業展開を協力・連携し取り組んでいく。
有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度に比し、紙の書籍、電子書籍とも貸出冊数が減少しているのは気になるところです。 ○『日本の統計』2025(総務省統計局)によると、令和5年の国内の「新刊点数」は64,905点、同「書籍新刊平均価格」は1,305円でした。「暦年」と「年度」の違いはありますが、浦添市立図書館の令和5年度の備品的資料費※約800万円を「平均価格」の1,305円で割ってみると、約6,130点になります。このことにより、浦添市立図書館の手持ちの資料費で購入できる点数は、一年間の国内「新刊点数」の1割にも満たないことがわかります。 ※浦添市立図書館ホームページ『浦添市立図書館報』第40号(令和5年度)より ○「新刊」は図書館の生命線です。電子書籍の新規契約も含め、資料にかかる費用の堅持に努めていただきたいと思います。 ○私事ですが、先日「来館者日本一」の石川県立図書館を訪ねました。テーマごとの資料群の厚み・NDC(日本十進分類法)に拠らない資料の見せ方・ホスピタリティ・清潔感等が絡み合う見事な空間でした。石川県立図書館と浦添市立図書館との共通点として、空間の素晴らしさ・ホスピタリティ・清潔感をあげておきます。今後、浦添市立図書館において新刊資料の飛躍的な増加は儘ならなくとも、現にストックしている資料で、テーマ毎の資料の見せ方(これでもかというほど冊数を集める・資料発見の意外性も追求・レイアウト方法の検討・その分野に長けた司書の個性を活かす等)を工夫されると、益々利用が望めるのではないかと考えます。

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	5	事業名	浦添市内遺跡発掘調査事業		
担当課	文化財課		有識者	松川 章	
事業概要	市内における大規模開発に際して、埋蔵文化財の有無の試掘調査及び範囲確認調査を実施して埋蔵文化財の適切な保護と調整の円滑化を図る。また、重要な遺跡について範囲及び性格を確認し保護を図るものである。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) 範囲確認調査</p> <p>→経年劣化により石積みの歪み等がみられる浦添市指定史跡「沢岬イリヌカー」に対し、復元整備に向けた遺構確認調査を行った</p> <p>→戦後に積み直された石積みや補修のセメントを除去したところ、当湧水が造られた際のオリジナルの石積み根石や敷石を確認した</p> <p>→特に敷石は石が巧みに敷き詰められている様子を確認して、当湧水が相当な労力をかけて造られたことが分かった</p> <p>→発掘調査の様子を市民に伝えるため発掘広報誌を4回に渡り発行し、市ホームページで公開するとともに沢岬自治会や沢岬小学校、浦添グスク・ようどれ館、浦添市美術館、浦添市歴史にふれる館等で配布した(沢岬小学校についてはデータを配信)</p> <p>→沢岬自治会CGG(クリーングリーングレイシャス)活動に合わせ令和6年12月15日に沢岬地域の小中学生約50名を対象に発掘現場見学会を行い、参加者より「自分の住んでいる地域の文化財なので、歴史の教科書で学んだことよりも身近に感じた」等の感想を得た</p> <p>→発掘調査の一環でレーザーによる3D測量データを基に作成した3D動画を市ホームページで公開した</p>				
課題	<p>○実施設計を行う際は、歩道と敷石との段差(約90cm)の解消方法が課題となる</p> <p>○復元整備に当たっては隣接地の所有者にご理解いただく必要がある</p>				
今後の方向	<p>○令和7年度は地域資源復元推進事業にて実施設計を実施</p> <p>○令和8年度は地域資源復元推進事業にて復元整備工事を実施予定</p> <p>○令和7年度の浦添市内遺跡発掘調査事業は浦添城跡の全容を解明するための範囲確認調査を実施</p>				
有識者の意見	<p>○発掘調査では、造営当初の石積みの根石や敷石を確認し、「沢岬イリヌカー」の復元整備にあたり、復元する石積みや敷石など構造の真実性を担保することができた。</p> <p>○発掘調査の成果は、市ホームページへ公開、沢岬自治会他へ配布、地域の小中学生への現場見学会の開催、テレビや新聞等のメディアをとおして広く市民・県民へ提供した。</p> <p>○令和6年度の本事業は、復元整備の根幹となる遺構を確認したこと、その成果を広く公開したことで文化財保護の普及啓蒙もなされ、高く評価する。</p> <p>○「沢岬イリヌカー」の復元整備事業は、令和5年4月の市指定から令和8年度予定の復元整備工事までの事業期間は4か年度であり、文化財課の事業計画と事業費の確保について高く評価する。</p> <p>○課題とされる歩道と敷石の落差は、訪れる方々の安全を第一に考慮されたい。</p> <p>○「沢岬イリヌカー」の復元整備を実施するに当たり、特に井泉上部石灰岩岩盤の自然及び経年劣化による亀裂と剥落等が考えられ、隣接地権者の理解と協力は必要である。地域自治会や文化財調査審議会等の意見、これまで実施した史跡整備状況を踏まえれば解決できるものと思います。</p> <p>○近世琉球の賦課の一つで、沢岬ムラへの「手形入れ」とその「品物」であったテナガエビ、川エビ、フナ、ウナギを飼っていたと伝えられる「沢岬イリヌカー」の復元に期待します。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	6	事業名	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業		
担当課	文化財課(美術館)		有識者	松川 章	
事業概要	H24 年度～R3 年度実施の沖縄振興特別交付金による同事業を R6 年度～11 年度再計画、実施。市民への文化継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化を紹介する市美術館において、常設展の充実化や関連講座の実施、企画展等を実施した。企画展や作品購入では、能登半島地震で被災し、友好美術館がある石川県輪島市の支援に取り組んだ。また、R7 年度開催の 35 周年展におけた調整調査に取り組んだ。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>①常設展 年間 3 回の常設テーマ展示を実施。(累計 14,243 人観覧)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第 1 期常設展「あつまれ!龍, 新収蔵品展」(6/4～9/8) ・ 第 2 期常設展「漆器の○△□」(9/15～1/19) ・ 第 3 期常設展「はれやかに 暮らしの漆器」(1/26～5/11) <p>②企画展 (累計 5,210 人観覧)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年能登半島地震輪島市支援「漆器の里石川県輪島市と沖縄の絆展」(3/20～5/26、6/1～6/26、11/7～11/19) ・葛飾北斎 琉球八景展(4/25～5/12) ・儀間比呂志・中山良彦「戦がやってきた-沖縄戦版画集-」版画展(6/4～6/23) <p>③関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 期常設展関連講座「工芸品に見る龍の文様について-中国と琉球を中心に-」 日時:6 月 16 日(日)午後 2～4 時 講師:森達也(沖縄県立芸術大学副学長) ・第 2 期常設展特別講演会「台湾の琉球関係史料について-故宮・琉球展を中心に-」 日時:1 月 11 日(土)午後 2～4 時 講師:赤嶺守(名桜大学大学院特任教授) ・第 3 期常設展関連講座「暮らしの漆器」 日時:2 月 22 日(土)午後 2～4 時 講師:嘉手納豪(角萬漆器社長) ・講座:「輪島のはなし」 日時:4 月 29 日(月・昭和の日)午後 2～3 時 30 分 講師:渡慶次愛・渡慶次弘幸 <p>④美術作品の購入 書画 1 点、輪島塗 10 点、琉球漆器等 6 点</p> <p>⑤R7 年度実施開館 35 周年展「琉球王国の華・漆芸-貝摺奉行所展-」事前調査 京都大学、天理大学附属天理図書館、東京国立博物館ほか</p>				
課題	○学芸員職の会計任用職員雇用の予算は確保したものの、応募者が無く通年の人員確保ができなかったため、職員の負担増加となった。				
今後の方向	<p>○R7 年 2 月 1 日で浦添市美術館は開館 35 年目となった。これまでの活動の集積の一つとして、令和 7 年度としては特別展「琉球王国の華・漆芸-貝摺奉行所展-」を開催し市民のみならず、国内外へ情報発信する。今後も調査研究に基づいた展示活動を行う。</p> <p>○昭和を代表する建築家の一人、内井昭蔵建築の美術館として美観を維持し、その価値を高める後世に伝える。</p> <p>○将来を担う子どもたちや高齢化社会、さまざまな立場の市民に公平な文化芸術活動の場を提供するとともに、文化芸術振興基本法に基づいた観光資源としての文化財と施設の活用を実践する。</p>				

有識者の意見	<p>○常設展は、3期に分けた特色ある漆器の展示、併せて第1期と3期の常設展に関連する講座も実施された。市広報や WEB への掲載、関連施設へのチラシやポスターの送付等の広報活動により14,243人の観覧があり、高く評価する</p> <p>○企画展は、「葛飾北斎 琉球八景展」と儀間比呂志・中山良彦「戦がやってきたー沖縄戦版画集ー」版画展は、当美術館の恒例であり、時宜を得たものとして評価する。</p> <p>○「漆器の里石川県輪島市と沖縄の絆展」は、企画展と関連講座を開催し、漆器を特色とする本市美術館と輪島市漆芸美術館との絆を知る展示会となり、評価する。</p> <p>○美術作品の購入は、作品の特色と評価を基になされ、今後の研究と公開に資するものと理解し、評価する。</p> <p>○沖縄振興特別交付金を活用する本事業は、「市民への文化継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化を紹介する」もので、常設展や企画展の開催と関連講座の実施、美術作品の購入と多くの事業を実施している。また、令和7年度は美術館開館 35 周年展も予定されており、沖縄振興特別交付金を活用した浦添市美術館の活動に多いに期待する。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	7	事業名	学力向上対策事業		
担当課	学校教育課		有識者	平良 亮	
事業概要	<p>市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。</p> <p>(1)『学力向上推進委員会設置要綱』を基に、学力向上推進委員会・専門部会の開催。</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各こども園、各小中学校、家庭・地域 関係各課・機関における学力向上マネジメントの PDCA サイクルを意識した取組。</p> <p>(3)中学校において、英語検定、漢字検定、数学検定受験生徒へ検定料の半額補助。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1)学力向上推進委員会・専門部会の開催 学力向上推進委員会 : (R6 実績:2回 R5 実績:2回 R4 実績:2回 R3 実績:0回) 学力向上推進専門部会: (R6 実績:1回 R5 実績:1回 R4 実績:0回 R3 実績:0回)</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』作成・配布 R6 実績(80部) R5 実績(80部) R4 実績(120部) R3 実績:(120部)</p> <p>(3)各種検定料の半額補助 R6 実績:619人(英検:280人、漢検:261人、数検:78人) R5 実績:745人(英検:308人、漢検:353人、数検:84人) R4 実績:745人(英検:364人、漢検:297人、数検:84人) R3 実績:918人(英検:387人、漢検:363人、数検:168人)</p> <p>○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会を小中全学校(16校)に設置し学校・家庭・地域の連携・協働のさらなる充実に努めることができた。</p>				
課題	<p>○沖縄県の「自立した学習者育成プロジェクト」に沿った「てだこていんさぐプラン(新浦添市学力向上推進プラン)」に係る重点項目等を各学校(園)に対しての周知。</p> <p>○『実践報告書』の作成方法や内容について、見直しを図る必要がある。</p> <p>○各種検定料半額補助の今後の在り方について検討が必要である。</p> <p>○学力向上推進の取組と全校設置となった学校運営協議会との連携・協働の在り方。</p>				
今後の方向	<p>○各種会議及び研修の確実な実施により、各学校(園)における実践的かつ機能的な取組の充実に努める。</p> <p>○『実践報告書』が他の学校(園)の参考となるよう見直しを図りその内容を充実させる。</p> <p>○各種検定料の半額補助について、学校以外で受験した場合の補助申請についての検討会議を開き今後の方針を確立する。</p> <p>○各学校の学力向上推進の取組充実と学校運営協議会との連携・協働について助言を行う。</p>				
有識者の意見	<p>○各種検定(英検、漢検、数検)の半額補助者数が、全体数として減少の傾向にある。検定料に要因があるのか、補助対象とする規定に要因があるのか精査が必要である。児童生徒にとっては検定に挑戦し、合格した実績が喜びや自信となり、自己肯定感の獲得へつながるとともに、将来の進路選択にも好影響を与えるものと思われることから、事業は継続していただきたい。ただ、中学校での検定自体が長年、申し込みや検定料の取りまとめ、検定当日の運営等に関して、勤務時間外まで及ぶ等、教職員の負担が伴って行なわれてきている実態がある。ぜひ教職員の負担軽減を図る視点から、より望ましい検定の実施体制(受験会場・補助対象規定等)について行政の立場から検討し、改善をしていただきたい。</p> <p>○こども園では「教育・保育の改善」につなげる、小中学校では「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に活用することを目的として作成した「浦添市学力向上推進実践報告書」の発行を評価したい。しかし、「今後の方向」にも記載があるように、活用については課題があると感じる。他校(園)の優れた良い実践が集約される報告書なので、沖縄県の新たな学力向上推進施策「自立した学習者の育成プロジェクト」や浦添市「てだこていんさぐプラン」の推進に向けた取り組みの充実に努めるとともに、集約された良い実践を、全校(園)が自校で共有できるシステムづくりをお願いしたい。</p>				

- 学力向上推進委員会や専門部会が予定通り開催できたことは喜ばしいことである。今後は、浦添市の推進計画「てだこていんさぐプラン」における重点項目に関して各校(園)へ周知徹底を図るとともに、各校(園)が連携しながら、さらに進んだ教育活動が実践・展開されることに期待したい。
- 「学校運営協議会」について、R6年度から全校が揃ってスタートできたことを評価したい。教育委員会が主催する研修会等を経て、各学校が児童生徒の実態を踏まえながら、各学校、地域の特色や強みを最大限に生かした教育活動を工夫しながら展開している状況が垣間見える。
- 引き続き、学校と家庭、地域、行政が連携した教育活動を展開することが幼児児童生徒の学力向上の推進につながっていくだろう。併せて、あくまでも学力向上の中心となるのは学校であり、教職員である。先生方が限られた時間の中で教師の専門性を生かしつつ、授業実践や授業準備、研修の時間や児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、より質の高い教育が実践できるよう「浦添市立学校業務改善推進プラン」の展開に引き続き取り組んでいくこともお願いしたい。

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	8	事業名	外国語指導事業		
担当課	学校教育課		有識者	平良 亮	
事業概要	<p>市立小中学生に対し、英語指導助手(AET)を活用した外国語活動・外国語学習を行う。</p> <p>(1)小学校では、学級担任や英語専科教師とのチーム ティーチングにより音声重視した英語の授業を推進する。</p> <p>(2)中学校では、外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際化に対応できる視野の広い生徒の育成を図る。</p> <p>(3)英語指導助手(AET)を活用して、全ての市立小中学校において異文化交流会を実施する。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	<p>(1)AET を全小中学校に配置し、AET を活用した授業や交流を行うことにより、児童生徒の異文化や英語に対する興味・関心が高まり、コミュニケーション能力の育成に効果的である。 (R6浦添市外国語意識調査結果より)</p> <p>①「英語が好き」小学校高学年 75% (R5 72%)、中学校 71% (R5 63%)</p> <p>②「英語の勉強は大切だ」小学校高学年94.5% (R5・94.5%)、中学校95.7% (R5・92%)</p> <p>(2)全小中学校で異文化交流会を実施することができた。 「自校の国際理解教育目標にせまることができた。」異文化交流会担当教師回答100%</p> <p>(3)「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を夏休み期間に2日間、JICA 沖縄と市役所で実施することができた。</p> <p>(4)外国語主任研修や小中連携授業公開の指導助言を通して、小中連携した取組を推進することができた。</p>				
課題	<p>(1)スキル面の課題 (R6県学力到達度調査より)</p> <p>①県学力到達度調査(1年生) 市平均正答率 35.0%(県 37.9%、地区38.9%)</p> <p>②県学力到達度調査(2年生) 市平均正答率 49.5%(県49.0%、地区51.5%)</p> <p>(2)情意面の課題(R6浦添市外国語意識調査結果より)</p> <p>「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。」</p> <p>小学校高学年 56% (R5・54%) 中学校48.7% (R5・46%)</p> <p>(3)言語活動を通じた指導の充実</p>				
今後の方向	<p>(1)小中ともに、効果的な AET とのチーム ティーチングによるきめ細かな学習指導を行うとともに、言語活動を通じた英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。</p> <p>(2)国際理解教育やキャリア教育における外部資源の活用という観点から、JICA 沖縄と連携した浦添プログラムの充実に努める。</p> <p>(3)外国人英語指導助手(AET)を活用して、「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を2日間の日程で実施する。</p> <p>(4)「太陽^{てい}っ子短期留学派遣事業」を開始し、各中学校から代表1名、計5名を英語圏の国に夏休み期間中3週間程度派遣する。</p> <p>(5)外国語科での小中連携した取組を引き続き推進していく。</p>				

- 浦添市外国語意識調査で「英語が好き」との問いには、小中学校とも前年度の数値を上回っている。さらに、「英語の勉強は大切だ」との問いには、小学校高学年が同数値、中学校が上回っている。本市が長年にわたり継続して取り組んできた特色ある本事業の成果だといえる。取り組み内容を分析しながら、引き続き本市児童生徒の英語力向上に努めていただきたい。
- 全ての小中学校で AET を活用して異文化交流が実施できたことも大きな成果である。本市が全小中学校、全ての学年において効果的にチームティーチングができるよう、全ての小中学校に AET を配置していることは、他市町村にない、長年にわたり本市の誇れる特長の一つといえる。
- 県学力到達度調査において中2は県平均を上回り、中1は地区、県よりも下回っている現状から、英語の勉強に対する意識は高いがスキル面が若干弱いと言えるので、その課題を分析し、各学校での授業改善につなげていく必要がある。
情意面の課題として「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」の回答率は、小中学校とも前年度の数値を上回っている。
「2024年度英語教育実施状況調査」(文部科学省)によると、「英語力が高い自治体では、授業などで英語を話す機会をたくさん設けている。」と分析をしている。
今後とも AET を積極的に活用し、会話を多く取入れる等、児童生徒の英語力向上に努めていただきたい。
- しばらく途絶えていた「太陽っ子短期留学派遣事業」の復活を評価したい。派遣人数は予算の関係から限定されるが、参加者にとっては、今後の人生に大きな影響を与える貴重な経験となるだろう。現地におけるプログラム内容の充実を図ることはもちろん、帰国後は体験談をより多くの生徒に伝えるための場(報告会)をぜひ設けていただきたい。
- 「海外短期留学派遣事業」の代替プログラムとして実施していた「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を解消することなく継続して実施することを評価したい。
身近にいる外国人英語指導助手(AET)を授業以外でも積極的に活用し、学習会に多くの中学生を参加させることは、互いの文化や考え方を知るとともに、双方の「違い」を理解し、相手を尊重する相互理解の態度の育成につながると思う。事業をぜひ推進してもらいたい。

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	9	事業名	こどもが主体的に学習するための学校 ICT 機器整備事業		
担当課	学校教育課(教育研究所)		有識者	平良 亮	
事業概要	市立小中学校16校の特別支援教室へ教育の情報化に向けた電子黒板セット(電子黒板+PC)のICT機器整備を実施する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) ICT 機器(電子黒板等)の機能強化 市立小中学校16校で一部未整備だった特別支援学級へ電子黒板を配置し、機能強化を実施した。これにより、普通教室・特別支援教室ともに市内全小中学校でICT機器を効果的に活用したこどもが主体的に学習するための環境がより整備された。</p> <p>(2) 「わかる授業」の構築によるこどもの主体的な学習の充実 ICT機器の整備・機能強化により、「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒が小中学校ともに97%で前年度より増加した。また、自分の考えをまとめることができる児童生徒は小学校で59%、中学校で75%とどちらも前年度より増加した。学年が上がるに従ってICTを活用した主体的な学習の割合が多くなっている。</p>				
課題	<p>○第3期以降に導入した機器の機能不足への対応</p> <p>○普通教室、特別支援教室以外の特別教室への更なる機能強化</p>				
今後の方向	<p>○第3期以降に導入した機器の計画的・継続的な機能強化による一人一台端末との連携した活用を進め、児童生徒の主体的な学びの広がりや深まりの一層の充実を目指す。</p> <p>○特別教室へのICT機器整備機能強化による、誰一人取り残すことない「令和の日本型教育」の構築を目指した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実を目指し、学習基盤としてのICT活用を図る。</p>				
有識者の意見	<p>○市内小中学校16校、すべての普通教室および特別支援教室へ電子黒板を設置し、すべての児童生徒がICT機器を活用した学びを平等に受けることができる環境を整備したことを高く評価したい。次は、特別教室への整備配置についてぜひお願いしたい。</p> <p>○本市独自の全小中学校対象のアンケートで「授業がわかりやすい」「自分の考えをまとめることができる」と答えた児童生徒が小中学校ともに前年度より増加している。 これはICT機器の整備・機能強化により、わかる授業の構築と主体的な学びができつつあると評価できる。継続した事業推進により、児童生徒の主体的な学びの広がりや深まりがさらに期待できる。</p> <p>○ICT機器の機能進化は日進月歩の世界である。引き続き、機器整備・機能強化を図ると同時に、それを使いこなす人材の育成も命題と言える。教師も学習者と同様にICT機器を積極的に使ってみることが重要である。 「一斉指導」、「個別指導」、「協働学習」、それぞれの場面を相互に組み合わせた指導ができる教師の指導力向上を図るためにも、引き続き予算の確保に尽力いただき、本事業を推進していただきたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	10	事業名	課題を抱える児童生徒支援事業		
担当課	こども青少年課		有識者	平良 亮	
事業概要	<p>沖縄振興特別推進市町村交付金を活用し、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、教育相談支援員を配置することで、不登校児童生徒や遊び非行・ひきこもり傾向等の様々な課題を抱える児童生徒に対して支援を行う。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) 教育相談室「くくむい」では、不登校児童生徒を対象に、個別面談や小集団活動を通し、学校復帰・社会適応を目指して支援を行った。[教育相談総件数 7,462 件 定期相談生 110 人]</p> <p>(2) こども支援教室「いまあじ」では、小集団での体験・学習活動を通して集団生活への適応力向上をさせ、学校復帰に向けた支援を行った。[入級者 2 人 体験通級・交流生 20 人]</p> <p>(3) 自立支援室「ひなた」では、遊び非行・ひきこもり傾向の児童生徒を対象に、日中の居場所づくりや自立に向けた支援を行った。[支援件数 1,259 件 児童生徒数 20 人]</p> <p>(4) 全市立小中学校へ教育相談支援員を配置し、課題を抱える児童生徒の相談業務や登校支援、児童生徒に関する悩みを持つ保護者や学校職員の相談活動を実施。</p> <p>(5) 全市立中学校へ校内自立支援員を配置し、登校するが教室に入室できない生徒に対して、校内自立支援室で児童生徒の個々の状況に応じた学習を中心とする支援を実施。</p> <p>※教育相談室「くくむい」、こども支援教室「いまあじ」、自立支援室「ひなた」で連携し、困難なケースに対して丁寧な支援ができたことは大きな成果である。</p>				
課題	<p>○不登校児童生徒数は、全国的に増加傾向にあり、昨年度まで毎年過去最多を更新する状況が続いている。令和6年度において不登校児童生徒数が667人となった。特に小学校で不登校が増加しており、未然防止・早期対応が急務となっている。</p> <p>○年間30日以上欠席した長期欠席生の増加に伴い、教育相談室「くくむい」への相談件数が年々増加している。相談件数の増加により臨床心理士、教育相談員の負担が増え、業務が逼迫したことから8月末から新規定期相談の受け入れを休止せざるをえなかった。</p>				
今後の方向	<p>○教育相談室「くくむい」への相談件数増加に伴い、臨床心理相談員・教育相談員の負担を軽減するため、小集団活動の強化を図り、社会適応・学校復帰を目指す。</p> <p>○不登校児童生徒の相談・指導等を受ける割合を増やし効果的な支援につなげるためにも、アセスメントシートを有効的に活用し、関係機関との連携強化を図る。(関係機関に90%つなぐ)</p> <p>○臨床心理士による初回面談で、相談者の訴えを明らかにするインテークを「ひなた」でも実施。該当する児童生徒の世帯背景をおさえ、適切な支援方針を検討する。</p> <p>○相談者を客観的に分析するアセスメントとして知能検査や社会生活能力検査を実施する。</p> <p>○中学校の生徒指導委員会・生徒支援委員会へ参加し、情報提供・情報共有を積極的に行い、お互いの支援につなげる(小学校は要望に応じて)。必要に応じて臨床心理士による適切な助言を行う。</p> <p>○令和7年度、学校における教育相談支援員及び校内自立支援員の増員を目指す。</p>				

- 教育相談室やこども支援教室、自立支援室の設置、全小中学校への教育相談支援員の配置、中学校への校内自立支援員の配置と、他市町村に誇れる手厚い支援体制で課題を抱える児童生徒支援が行われている。浦添市教育振興基本計画の骨子「すべての幼児児童生徒が等しく教育を受けるための支援」を達成に向けて、本市の本気度が伝わる事業であり大いに評価できる。
- 相談件数や支援回数の増加、不登校児童生徒数が600人を超え、毎年過去最多を更新するなど、年々厳しい状況に変わりはないが、これは本市だけに限ったことではなく、本県を含め全国的な傾向である。相談件数の多さは、児童生徒一人一人を大切に、学校や関係機関が連携して困りごとへの丁寧な相談体制が構築されている裏返しといえるのではないかな。
- 一方で、抱える件数の多さと解決が困難なケースの増加が臨床心理士や教育相談員の負担増等、業務が逼迫し、8月（R5は10月から休止）からの新規定期相談の受け入れを休止せざるをえなくなったことは、やむを得ない状況だったとはいえ、学校現場にとっては残念な状況であった。今後、臨床心理士や教育相談員等の負担軽減を図る取組と併せて、「今後の方向」にある、学校教育相談員及び自立支援員の増員の実現を強く望む。
- 学校においては未然防止の視点から「魅力ある学級・学校づくり」の推進、初期対応の視点から「組織的な早期発見・早期対応」体制の確立、自立支援の視点から「学校外の施設と連携した支援」体制づくりが重要である。特に小学校で不登校が増加しており、未然防止・早期対応に向けた支援が急務となっている。ぜひ行政側の積極的な指導助言のもと、早期における教育相談の在り方や家庭支援等の体制確立に向けた取組を推進してもらいたい。
- 本事業を継続し、課題を抱える児童生徒に、こども青少年課と学校、家庭、地域、関係機関が連携を深め粘り強い丁寧な支援が必要である。全小中学校に設置された「学校運営協議会」で幼児児童生徒の現状を共有し、コミュニティー全体で取り組む必要性も痛感している。

教育委員会点検・評価書(令和6年度実施事業)

No	11	事業名	学校給食費補助金交付事業・美味しい給食推進事業		
担当課	学校給食調理場	有識者	平良 亮		
事業概要	物価高騰による学校給食費の保護者負担軽減支援等のため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費の保護者負担軽減に向けた取組を図る。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	<p>○学校給食費保護者負担軽減補助金 浦添市立小中学校に通う児童生徒(児童 7,562 人、生徒 3,733 人)の給食費を令和 6 年 4 月から 7 月分までの 4 か月間、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(学校給食費保護者負担軽減補助金)を活用し、給食費を補助することにより保護者の負担軽減を図った。</p> <p>○学校給食物価高騰対策補助金、美味しい給食推進事業補助金 原油価格や物流費の高騰などの要因により、学校給食における食材高騰への対応と学校給食の充実及び食育の推進を図るため、補助金等を活用し(児童 400 円/1 人、生徒 500 円/1 人)1 年間学校給食費に上乗せすることで、学校給食食材の安定的な確保に努めた。</p>				
課題	○社会環境や生活環境の多様化に伴い、子どもたちを取り巻く環境が変化する中、物価高騰等の影響もあり、安定的な食材の調達について課題がある。				
今後の方向	<p>○子育て世帯の保護者への経済的負担を軽減する方策の検討。</p> <p>○安定的な財源の確保に努め、学校給食が児童生徒の栄養バランス及び栄養価充足率の向上に努める。</p>				
有識者の意見	<p>○2024年度「沖縄こども調査」報告書によると、困窮世帯の割合は 21.8%と前回調査より 7.1 ポイント減少したものの、長引く物価高騰で、全体の 90%以上が「生活が苦しくなった」と回答している。困窮世帯の割合が増えている中、支援を受けている保護者にとっては大変ありがたい事業であり、安心して子育てができる環境づくりにもつながる事業として、大変評価できる。</p> <p>○ある調査によると、経済的な困難を抱える家庭では、学校給食費を含む教育費の支出が大きな負担となっている。さらに経済的負担によるストレスが子どもの学校生活や、家庭内の人間関係にも影響していることが明らかになっている。しかし、その経済格差が、成長期にあるこどもの食事内容や栄養摂取に悪影響を与えてしまう状況だけは避けたい。すべての児童生徒が平等に、栄養バランスの摂れた学校給食を食べることができ、経済的な困難から健康や学習機会が損なわれないようにあってほしいことを願う。</p> <p>○全国的に学校給食費無償化の流れが加速している中、全国や本県のどこの自治体においてもその財源確保が大きな課題となっている。長引く物価高騰により、食材調達にも経費負担が増す中において本市も同様な課題があるが、学校給食が成長期にある児童生徒に対し栄養バランスのとれた食事を提供し、児童生徒の健康増進、体位の向上及び心身の発達を図ることを目的としていることから継続は重要であり、「食育の推進」という視点からも、子育て保護者への経済的負担を軽減する方策を見いだし、実施していただくことを強く望む。</p> <p>○学校給食は「食育指導」の中核をなすものであると同時に、「知育・徳育・体育」など「生きる力」の基本となるべき大切なものでもあり、栄養摂取を含め、その果たす役割は大きい。</p>				

資料

教育委員会会議における議案等一覧

開催回数19回(定例会12回、臨時会7回)

議案43件、報告24件

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例会 定例1	R6.4.5	第1号	原案どおり承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
		報告第1号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
定例会 定例2	R6.5.2	第2号	原案どおり了承	第209回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		報告第2号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告第3号		「浦添市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」策定後の取組報告について
		報告第4号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
定例会 定例3	R6.6.7	第3号	原案どおり承認	浦添市自殺対策推進本部設置規程の一部を改正する訓令
		報告第5号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告第6号		専決処分の報告について
		報告第7号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
定例会 定例4	R6.7.5	第4号	原案どおり承認	教育長の営利企業等の従事について
		第5号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について
		報告第8号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告第9号		令和6年度浦添市教育委員会点検・評価報告について
定例会 定例5	R6.8.2	第6号	原案どおり了承	第210回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第7号	原案どおり承認	浦添市子ども青少年運営協議会規則の一部を改正する規則
		第8号	原案どおり承認	浦添市美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第9号	原案どおり承認	令和7年度使用小学校教科用図書の採択について
		第10号	原案どおり承認	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
		第11号	原案どおり承認	令和7年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
		報告第10号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例6	R6.9.6	第12号	原案どおり承認	浦添市教育委員会会議規則の一部を改正する規則
		第13号	原案どおり承認	浦添市教育委員会外国語指導助手の設置及び勤務条件等に関する規則を廃止する規則
		第14号	原案どおり承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する規則
		第15号	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		第16号	原案どおり承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告第11号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時1	R6.9.11	第17号	原案どおり了承	第210回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
定例会 定例7	R6.10.4	報告第12号		専決処分の報告について(教育委員会事務局職員)
臨時2	R6.10.24	報告第14号		専決処分の報告について

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例8	R6.11.1	第18号	原案どおり 了承	第211回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第19号	原案どおり 承認	浦添市自殺対策推進本部設置規程の一部を改正する訓令
		第20号	原案どおり 承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告 第15号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例9	R6.11.25	報告 第16号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時3	R6.12.11	第21号	原案どおり 承認	令和6年度公立学校管理職途中人事の内申について
		第22号	原案どおり 承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則
		報告 第17号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第18号		専決処分の報告について
定例10	R7.1.10	第23号	原案どおり 承認	令和6年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
		報告 第19号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第20号		専決処分の報告について
定例11	R7.1.29	第24号	原案どおり 了承	第212回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第25号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費給付金交付規程の一部を改正する告示
		第26号	原案どおり 承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則
		第27号	原案どおり 承認	令和6年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の追加決定について
		報告 第21号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時4	R7.2.17	第28号	原案どおり 承認	令和7年度公立学校管理職等の定期人事異動の内申について
		第29号	原案どおり 承認	指導主事の派遣に関する内申について
		第30号	原案どおり 了承	第212回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
定例12	R7.2.25	第31号	原案どおり 承認	令和7年度公立学校管理職等の定期人事異動の内申について
		第32号	原案どおり 承認	公立学校事務職員の昇任内申について
		第33号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		報告 第22号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時5	R7.3.14	第34号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について(退職)
		第35号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		第36号	原案どおり 承認	教育機関の長の任命について
		第37号	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第23号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第24号		専決事項の報告について
臨時6	R7.3.19	第38号	原案どおり 了承	第213回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申し出について

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
臨時7	R7.3.31	第39号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について(退職)
		第40号	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		第41号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費保護者負担軽減補助金交付規程の一部を改正する告示
		第42号	原案どおり 承認	浦添市中学生学校給食費補助金交付規程
		第43号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会職員の人事評価制度実施規程
		報告 第25号		専決処分の報告について

教育委員の活動状況
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

日付	内容
4月1日(月)	令和6年度定期人事異動辞令交付式
4月5日(金)	教育委員会定例会(4月)
4月9日(火)	牧港小学校入学式
	宮城小学校入学式
	浦添小学校入学式
	当山小学校入学式
	仲西中学校入学式
	神森中学校入学式
	浦添中学校入学式
	浦西中学校入学式
4月15日(月)	市町村教育委員会県連理事会(ZOOM)
4月25日(木)	令和6年度 浦添市青少年健全育成市民会議 定期総会
4月26日(金)	教育委員会議勉強会
5月2日(木)	教育委員会定例会(5月)
5月16日(木)	第69回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
5月17日(金)	
5月24日(金)	令和6年度浦添市PTA連合会定期総会
5月30日(木)	令和6年度 浦添市育英会第1回評議員会
6月7日(金)	教育委員会定例会(6月)
7月2日(火)	第74回社会を明るくする大会
7月5日(金)	教育委員会定例会(7月)
7月8日(月)	泉州市学生との交流事業歓迎レセプション
7月9日(火)	泉州市学生との市内児童交流会
7月11日(木)	泉州市学生との交流事業送迎レセプション
7月19日(金)	夜間巡回・情報交換会
7月22日(月)	教科用図書那覇採択地区協議会
7月23日(火)	
7月29日(月)	教育委員会議勉強会
8月2日(金)	教育委員会定例会(8月)
8月16日(金)	市町村教育委員会県連理事会(リモート参加)
8月24日(土)	うらそえ社会教育いきいきまつり2024
8月29日(木)	教育委員会議勉強会
9月6日(金)	教育委員会定例会(9月)
9月11日(水)	第1回教育委員会議臨時会
10月2日(水)	教育委員辞令交付式
	教育研究所長期研究員入所式
10月3日(木)	青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
10月4日(金)	教育委員会定例会(10月)
10月10日(木)	学校訪問 神森中学校
10月15日(火)	浦添市戦没者慰霊祭
10月16日(水)	学校訪問 浦城小学校
10月17日(木)	学校訪問 浦西中学校
10月18日(金)	学校訪問 前田小学校
10月22日(火)	第6回教科用図書那覇採択地区協議会
10月23日(水)	学校訪問 仲西中学校
10月24日(木)	第2回教育委員会臨時会
	学校訪問 沢岷小学校

日付	内容
10月25日(金)	市町村教育委員会連合会研修会 那覇地区市町村教育委員会地区会議
10月29日(火)	学校訪問 当山小学校 教育委員会議勉強会
10月30日(水)	学校訪問 牧港小学校
11月1日(金)	教育委員会定例会(11月)
11月8日(金)	学校訪問 内間小学校
11月11日(月)	学校訪問 仲西小学校
11月12日(火)	学校訪問 神森小学校
11月13日(水)	学校訪問 浦添中学校
11月21日(木)	学校訪問 浦添小学校
11月22日(金)	学校訪問 港川小学校
11月25日(月)	教育委員会定例会(12月)
11月28日(木)	学校訪問 港川中学校
11月29日(金)	学校訪問 宮城小学校
12月11日(水)	第3回教育委員会臨時会
12月24日(火)	教育委員会議勉強会
1月10日(金)	教育委員会定例会(1月)
1月11日(土)	浦添市消防出初式
1月12日(日)	浦添市はたちの集い
1月22日(水)	令和6年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
1月24日(金)	教育委員会議勉強会 てだこ学園大学院意見発表会
1月26日(日)	第41回浦添市子ども会まつり
1月29日(水)	教育委員会定例会(2月)
2月8日(土)	教育委員会表彰式
2月17日(月)	第3回教育委員会臨時会
2月21日(金)	てだこ学園大学院卒業式
2月25日(火)	教育委員会定例会(3月)
3月8日(土)	浦西中学校卒業式 仲西中学校卒業式 港川中学校卒業式 神森中学校卒業式
3月14日(金)	第5回教育委員会臨時会議
3月18日(火)	内間小学校卒業式 浦城小学校卒業式 牧港小学校卒業式
3月19日(水)	第6回教育委員会臨時会議
3月25日(火)	教育研究所 長期教育研究員成果報告会・修了式
3月31日(月)	第7回教育委員会臨時会議

教育長の活動状況
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

日付	内容
4月1日(月)	令和6年度 定期人事異動辞令交付式 拡大庁議 事務調整
4月2日(火)	令和6年度 第1回浦添市初任者研修会 新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
4月3日(水)	業務運営会議 新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
4月4日(木)	新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
4月5日(金)	教育委員会定例会(4月)
4月8日(月)	政策会議
4月9日(火)	浦城小学校入学式 港川中学校入学式
4月11日(木)	令和6年度 中部保護区保護司会浦添支部定期総会
4月12日(金)	事務調整
4月15日(月)	政策会議 浦添市てだこ学園役員来訪
4月16日(火)	庁議 令和6年度 浦添市こいのぼり掲揚式 校長連絡協議会
4月17日(水)	「カーミージの生き物たち」パンフレット寄贈 令和6年度 第1回浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会 新一年生用ランドセルカバー寄附金贈呈式
4月18日(木)	来客
4月19日(金)	令和6年度「浦添市婦人連合会」「浦添市交通安全母の会」定期総会
4月22日(月)	政策会議 来客
4月23日(火)	教頭等連絡協議会 令和6年度 浦添市民生委員・児童委員連絡協議会定期総会
4月24日(水)	令和6年度 沖縄県人権擁護委員協議会定期総会
4月25日(木)	てだこまつり実行委員会総会 令和6年度(第42回)浦添市民憲章推進協議会総会
5月1日(水)	那覇地区校長会表敬訪問
5月2日(木)	教育委員会定例会(5月)
5月7日(火)	来客
5月8日(水)	全国・九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
5月9日(木)	全国・九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
5月10日(金)	全国・九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
5月11日(土)	全国・九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
5月13日(月)	事務調整 政策会議 事務調整 令和6年度 浦添市育英会第1回理事会
5月14日(火)	ゴーヤーの苗贈呈式 来客
5月15日(水)	令和6年度 第1回市町村教育委員会教育長連絡協議会 教科用図書那覇採択地区協議会
5月16日(木)	令和6年度 沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研究大会
5月17日(金)	令和6年度 沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会
5月19日(日)	浦添市子連定期総会・表彰式・表彰祝賀会

日付	内容
5月20日(月)	政策会議 教育委員会実施事業有識者委嘱状交付式
5月21日(火)	庁議 国立劇場おきなわ表敬訪問
5月22日(水)	評価者(当初)面談
5月23日(木)	事務調整 評価者(当初)面談
5月24日(金)	臨時庁議 教育委員会実施事業有識者委嘱状交付式 租税教育推進連絡協議会定期総会 令和6年度 浦添市PTA連合会定期総会
5月27日(月)	令和6年度 第1回浦添市学校教育情報化推進委員会 しまくとぅば教育に関する検討委員会
5月28日(火)	浦添市てだこ学園大学院同窓会定期総会
5月29日(水)	琉球大学附属学校表敬訪問 事務調整 那覇地区中学校体育連盟表敬訪問
5月30日(木)	浦添市文化協会新役員来訪 令和6年度 浦添市育英会評議員会
5月31日(金)	第22回てだこウォーク総会 沖縄県中学校文化連盟表敬訪問 那覇地区校長会表敬訪問
6月3日(月)	育英会寄附金贈呈式
6月5日(水)	第209回浦添市議会定例会 教育支援委員辞令・委嘱状交付式
6月6日(木)	議案勉強会
6月7日(金)	教育委員会定例会(6月) 事務調整 当山小学校分離新設校について(意見交換)
6月10日(月)	政策会議
6月11日(火)	第209回浦添市議会定例会
6月12日(水)	6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦 第209回浦添市議会定例会
6月13日(木)	第209回浦添市議会定例会
6月14日(金)	第209回浦添市議会定例会
6月17日(月)	政策会議 第209回浦添市議会定例会
6月18日(火)	第209回浦添市議会定例会
6月20日(木)	平和キャラバン出前講座
6月24日(月)	政策会議
6月25日(火)	飛び出せ学校応援プロジェクト 浦添地区少年補導員協議会役員来訪 史跡中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会 令和6年度 第1回学力向上推進専門部会
6月26日(水)	第209回浦添市議会定例会
6月27日(木)	第209回浦添市議会定例会
6月28日(金)	浦添市少年の主張大会
7月1日(月)	政策会議 第74回「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式 しまくとぅば教育に関する検討委員会

日付	内容
7月2日(火)	平和キャラバン出前講座 社会を明るくする運動大会
7月3日(水)	業務運営会議 泉州市交流事業事務調整
7月4日(木)	校長連絡協議会
7月5日(金)	教育委員会定例会(7月) 公園管理事務所表敬訪問 行政懇親会
7月8日(月)	政策会議 中国泉州市・浦添市小中学生交流事業歓迎レセプション
7月9日(火)	中国泉州市小中学生交流団来訪 浦添市・泉州市小中学生交流事業(学校交流会) 浦添市・泉州市小中学生交流事業(夕食)
7月11日(木)	浦添市・泉州市小中学生交流事業(歓送レセプション)
7月12日(金)	浦添市・泉州市小中学生交流事業(送別式・お見送り)
7月16日(火)	庁議 浦添市社会教育委員委嘱状交付
7月17日(水)	プール跡地利用についての意見交換 教職員組合那覇支部訪問
7月22日(月)	令和6年度教科用図書那覇採択地区協議会 政策会議
7月23日(火)	令和6年度教科用図書那覇採択地区協議会
7月24日(水)	令和6年度教科用図書那覇採択地区協議会
7月26日(金)	沖縄県都市教育長協議会
7月28日(日)	泉州市人民政府 浦添市表敬訪問
7月29日(月)	政策会議
7月30日(火)	令和6年度浦添市PTA連合会役員表敬
8月2日(金)	教育委員会定例会(8月)
8月5日(月)	特定非営利活動法人シンコペーション表敬訪問 Google社来訪
8月6日(火)	臨時庁議 事務調整
8月14日(水)	業務運営会議
8月16日(金)	事務調整
8月19日(月)	政策会議 こども議会勉強会 第2回浦添市初任者研修会
8月20日(火)	庁議 事務調整
8月23日(金)	臨時庁議 第4回てだこ子ども議会
8月24日(土)	うらそえ社会教育いきいきまつり2024
8月26日(月)	第3回しまくとぅば教育に関する検討委員会
8月29日(木)	輪島市への義援金贈呈式
8月31日(土)	結・ゆいフェスティバル2024オープニングセレモニー 第18回浦添市語やびらしまくとぅば大会
9月2日(月)	政策会議 那覇地区中文連表敬
9月3日(火)	第210回浦添市議会定例会
9月5日(木)	事務調整
9月6日(金)	教育委員会定例会(9月)
9月7日(土)	浦添市立図書館アメリカ情報コーナー設置20周年記念セレモニー

日付	内容
9月9日(月)	政策会議 第210回浦添市議会定例会
9月10日(火)	第210回浦添市議会定例会
9月11日(水)	教育委員会臨時会 第210回浦添市議会定例会
9月12日(木)	第210回浦添市議会定例会
9月13日(金)	第210回浦添市議会定例会
9月17日(火)	第210回浦添市議会定例会
9月19日(木)	しまくとぅばオーケストラ
9月22日(日)	第27回浦添市空手道大会
9月24日(火)	第3回校長連絡協議会
9月25日(水)	飛び出せ学校応援プロジェクト 浦添西原ゴルフ場地主組合総会
9月26日(木)	飛び出せ学校応援プロジェクト
9月27日(金)	第210回浦添市議会定例会
9月28日(土)	那覇地区PTA研修会
9月30日(月)	政策会議 令和6年度 浦添市育英会第2回理事会
10月1日(火)	飛び出せ学校応援プロジェクト 文化協会講話
10月2日(水)	業務運営会議 辞令交付式 令和6年度 長期教育研究員入所式
10月3日(木)	浦添市女性連合会作成バッグ市交通安全推進協議会ランドセルカバー(再利用品)寄贈式 主任児童委員研修会講師 青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
10月4日(金)	第58回沖縄県公立小中学校事務職員研究大会開会式 教育委員会定例会(10月)
10月7日(月)	臨時庁議
10月10日(木)	学校訪問 神森中学校
10月11日(金)	浦添市小学校童話・お話大会 教育実践演習講師
10月15日(火)	第78回浦添市戦没者追悼式
10月16日(水)	学校訪問 浦城小学校
10月17日(木)	学校訪問 浦西中学校 沖縄県消防長会来訪
10月18日(金)	学校訪問 前田小学校 事務調整
10月21日(月)	政策会議 令和6年度 評価者(中間)面談
10月22日(火)	那覇地区教科書採択協議会 令和6年度 第2回市町村教育長連絡協議会
10月23日(水)	学校訪問 仲西中学校 令和6年度 評価者(中間)面談
10月24日(木)	教育委員会臨時会 学校訪問 沢岬小学校 令和6年度 評価者(中間)面談 公民館運営審議会委員委嘱状交付式
10月25日(金)	沖縄県市町村教育委員会連合会(研修会) 那覇地区市町村教育委員会協議会(第2回会議)

日付	内容
10月26日(土)	第47回浦添てだこまつり 浦添市小学校校区子ども会対抗ドッジビー大会 てだこポケットフェスタ～第47回浦添てだこまつり～安全祈願祭
10月27日(日)	第47回浦添てだこまつり
10月28日(月)	飛び出せ学校応援プロジェクト
10月29日(火)	学校訪問 当山小学校
10月30日(水)	学校訪問 牧港小学校
11月1日(金)	教育委員会定例会(11月)
11月5日(火)	令和6年度 第4回校長連絡協議会 臨時庁議
11月6日(水)	業務運営会議
11月7日(木)	来客 県消防大会体験発表会審査員
11月8日(金)	学校訪問 内間小学校
11月11日(月)	政策会議 学校訪問 仲西小学校
11月12日(火)	学校訪問 神森小学校
11月13日(水)	学校訪問 浦添中学校 事務調整
11月15日(金)	税に関する作品表彰式
11月16日(土)	第12回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会
11月18日(月)	臨時庁議
11月19日(火)	令和6年度 浦添市・キャンプキンザー合同防災訓練
11月21日(木)	学校訪問 浦添小学校
11月22日(金)	事務調整 学校訪問 港川小学校 第75回沖縄県童話・お話・意見発表大会
11月25日(月)	政策会議 教育委員会定例会(12月)
11月26日(火)	事務調整 防災調整会議
11月27日(水)	飛び出せ学校応援プロジェクト
11月28日(木)	学校訪問 港川中学校
11月29日(金)	学校訪問 宮城小学校
12月2日(月)	政策会議 第211回浦添市議会定例会
12月4日(水)	事務調整
12月5日(木)	第30回那覇地区中学校総合文化祭
12月6日(金)	第211回浦添市議会定例会 臨時庁議
12月7日(土)	第30回沖縄県中学校総合文化祭 令和6年度 浦添市障がい児・者ふれあいクリスマス会
12月9日(月)	政策会議 第211回浦添市議会定例会
12月10日(火)	第211回浦添市議会定例会
12月11日(水)	教育委員会臨時会 第211回浦添市議会定例会
12月12日(木)	第211回浦添市議会定例会
12月13日(金)	第211回浦添市議会定例会 保護司会受賞祝賀会
12月14日(土)	PTA親睦スポーツ大会

日付	内容
12月15日(日)	令和6年度「御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス(CGC)運動」
12月16日(月)	政策会議
12月18日(水)	Mozuミニチュア展チケット及び割引券贈呈式 ランドセルカバー再利用品作成報告
12月19日(木)	浦添市教育委員会表彰選考審査会
12月20日(金)	第66回九州高等学校演劇研究大会
12月21日(土)	第25回浦添市小中学校美術作品展表彰式
12月23日(月)	政策会議 第211回浦添市議会定例会
12月25日(水)	第3回浦添市育英会理事会
12月26日(木)	令和6年度 冬季講習
12月27日(金)	臨時庁議 拡大庁議 人事評価結果処遇反映に伴う人事評価研修
1月6日(月)	年始式 拡大庁議
1月9日(木)	2025浦添市新年祝賀会
1月10日(金)	教育委員会定例会(1月)
1月11日(土)	令和7年浦添市消防出初式
1月12日(日)	令和7年浦添市はたちの集い
1月14日(火)	令和7年新春の集い
1月16日(木)	令和6年度 市町村教育委員会研究協議会
1月17日(金)	琉球大学インターンシップ教育長表敬
1月20日(月)	政策会議
1月21日(火)	庁議 全国学校給食週間における児童生徒と市長・教育長等との給食会食 浦西中学校表敬訪問
1月22日(水)	令和6年度 市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
1月23日(木)	第47回浦添てだこまつり実行委員会(最終)
1月24日(金)	第2回沖縄県都市教育長協議会
1月25日(土)	第138回杜の賑い沖縄
1月26日(日)	2024うらそえYA文芸表彰式
1月27日(月)	浦添市自殺対策推進本部 株式会社ヤクルト球団部長来訪 しまくとぅば教育に関する検討委員会
1月28日(火)	第5回校長連絡協議会
1月29日(水)	教育委員会定例会(2月)
1月31日(金)	寄附金贈呈式
2月3日(月)	政策会議 第3回教頭連絡協議会 学力向上推進委員会
2月4日(火)	令和6年度 第3回市町村教育長連絡協議会
2月5日(水)	令和6年度 評価者(最終)面談
2月6日(木)	事務調整 令和6年度 評価者(最終)面談
2月7日(金)	臨時庁議 令和6年度 評価者(最終)面談
2月8日(土)	令和6年度 浦添市教育委員会表彰式
2月10日(月)	市長登庁セレモニー 浦添市長当選証書付与式 臨時庁議 浦添市議会議員当選証書付与式

日付	内容
2月12日(水)	市長登庁式 第16第浦添市長就任式 拡大庁議
2月13日(木)	事務調整
2月14日(金)	令和6年度 第2回浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会 浦添中学校表敬
2月15日(土)	第47回沖縄青少年科学作品展式典
2月17日(月)	教育委員会臨時会
2月18日(火)	庁議 史跡中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会(第2回)
2月19日(水)	第212回浦添市議会定例会
2月21日(金)	てだこ学院大学卒業式
2月22日(土)	令和6年度 第42回浦添市PTA研究大会及び授賞式
2月25日(火)	事務調整 教育委員会定例会(3月)
2月26日(水)	第212回浦添市議会定例会
2月27日(木)	第212回浦添市議会定例会
2月28日(金)	第212回浦添市議会定例会
3月3日(月)	政策会議 第212回浦添市議会定例会
3月4日(火)	第212回浦添市議会定例会
3月7日(金)	「ちかためプロジェクト」終了報告会 育英会寄附金贈呈式
3月8日(土)	浦添中学校卒業式
3月10日(月)	政策会議
3月13日(木)	一般会計予算審査特別委員会
3月14日(金)	教育委員会臨時会
3月15日(土)	第76回「沖展」開会式
3月17日(月)	政策会議 令和6年度 高齢者叙勲授与伝達式
3月18日(火)	沢岬小学校卒業式
3月19日(水)	教育委員会臨時会 新一年生用ランドセルカバー 寄附金贈呈式 「コミュニティ・スクール文部科学大臣表彰」市長表敬
3月21日(金)	史跡中頭方西海道及び普天満参詣整備委員会(第3回) 「コミュニティ・スクール文部科学大臣表彰」祝賀会
3月22日(土)	琉球交響楽団第50回定期演奏会
3月24日(月)	政策会議 第212回浦添市議会定例会
3月25日(火)	長期教育研究員成果報告会
3月26日(水)	令和7年度 秋田派遣研修に係る辞令交付式 令和7年度 浦添市防災会議 臨時庁議
3月27日(木)	事務調整
3月28日(金)	退職辞令式
3月31日(月)	拡大庁議 教育委員会臨時会 退職辞令交付式(派遣指導主事) 令和6年度 退職辞令交付式

点検・評価を終えて

令和7年度の「教育委員会点検・評価報告書（令和6年度事業対象）」がまとまりました。

教育委員の活動においては、中国泉州市の児童生徒と本市児童生徒との交流会や浦添市はたちの集いなど多種多様な行事にも積極的に参加し、その様子や状況等を直に確認し、現場の現状を理解するよう努めました。

次に、毎月開催されている教育委員会議においては、審議の活性化と深化を目指し、事前の議案資料の読み込みや自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み、充実を図ってきました。

また、学校訪問においては、市内の全小中学校で、特別教室への ICT 機器整備機能強化による、誰一人取り残すことのない「令和の日本型教育」の構築を目指した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実を目指し、学習基盤としての ICT 活用が図られ、効果的に活用したわかる授業が校内のどの学級においても日常的に実践され、管理職のリーダーシップのもと、授業改善を軸にした児童生徒の学力向上への意欲を実感することが出来ました。デジタル化の推進により、教職員の労働環境改善にもつながり、ひいては学校教育の充実・発展にもつながると思われま

最後に、「教育長への委任事務評価」においては、重点施策と位置づけた事業の中から 11 事業のうち 9 事業については主要事業と位置づけ、前年度から継続して評価対象とし、事業全体としては、前年度の課題と有識者提言を受けて改善に取り組まれた事業や担当課による事業に取り組む姿勢に対し、労いと激励と同時に、事業推進への貴重な提言をいただきました。

今後も、担当部署や関係者が、各事業の成果と課題や今後の方向性を共有し、さらに、有識者による提言を真摯に受け止めて、施策の着実な実現に向け、効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年度の「教育委員会点検・評価」にあたり、有識者として関係資料の読み込み、担当部署や関係者への聞き取りなどに精力的に取り組まれ、大所高所からご助言・ご提言をいただきました、平良 亮様、松川 章様、森田 牧子様には衷心より厚くお礼申し上げます。

浦添市教育委員会